



展示場へ行くこう!

4F

すばる望遠鏡の鏡の大きさ

展示場4階をぐるりとまわり、銀河系のゲートをくぐるとちょっと広いスペースがあります。ここでは、企画展の会場になることもありますが、常設展として「日本の天文台」や「宇宙の大規模構造」の展示があります。



でも、ここでは展示の下、床をみてください。色がわかれていて、分かれ目がカーブしている。薄青の部分は丸いですよ。

実は、このかなり大きな円は、日本が誇る世界トップレベルの巨大望遠鏡、ハワイのマウナケア山山頂に設置されている、すばる望遠鏡の鏡(図)の大きさと同じ、直径8.2mの円なのです。数字で知っていても実感できないので、展示改装にあわせて実物大をしめそう！と床のカーペットを発注したのです。解説板もちょっとだけあるのですが、なかなか気が付く人がいないので、このうちゅうでちょっと宣伝です。これだけの大きさの鏡(凹面鏡)で集めた光で宇宙を見るのですから、どれだけかすかな星が見えるのか、わかりますね。

でも、天文学者はこれでも足りないといって30mの望遠鏡の開発をはじめています。もう展示場に、いやプラネタリウムにすら入りません。

渡部 義弥(科学館学芸員)

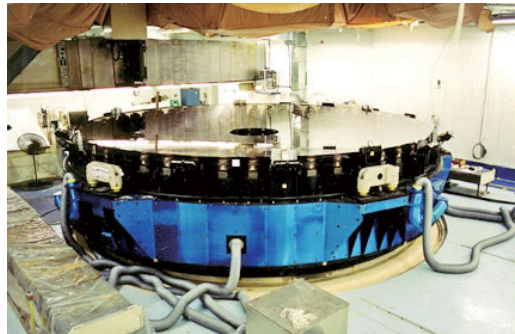


図. すばる望遠鏡の鏡
提供: 国立天文台